

マニラ日本人会イベント

海上自衛隊

ひゅうが型護衛艦「いせ」特別公開

「ヘリ空母」としても知られる海上自衛隊ひゅうが型護衛艦「いせ」（全長 197 メートル）が 6 月 21 日、首都圏マニラ市マニラ南埠頭に寄港しました。今回の寄港は「海自による自由で開かれたインド太平洋（F O I P*）」実現のための「インド太平洋方面派遣（I P D*）」（2019 年正式開始）の一環とのことです。

船体の輪郭、船橋設備以外の部分が飛行甲板となっている構造は、まるで小型空母のように見えます。

*FOIP: Free and Open Indo-Pacific *IPD: Indo-Pacific Deployment の略



豆知識：「ひゅうが」型？

ヘリコプター搭載護衛艦において、建造された世代を表す「艦級」を表す名称。はるな型(建造期間 1970-1974)→しらね型(1977-1981)→ひゅうが型(2006-2011) 初めて全面飛行甲板が採用され、「いせ」と「ひゅうが」の 2 隻がある。次世代の「いずも型」は更に大型化(248m)

6月22日、護衛艦「いせ」の特別見学会が催され、マニラ日本人会を通じて先着順に選ばれた100名の会員の皆様が見学会に参加されました。日本人会事務局に寄ると、6月10日（月）10時からGoogleフォームで行われた予約受付では、開始3分で枠が埋まってしまうほどの大人気だった、とのこと。

当日、参加者の皆さんには、お子様連れのご家族も多く、日頃見学出来ない護衛艦の艦内で、自衛官の皆さまの丁寧な説明に興味深そうに耳を傾けていました。

防衛上の理由から、写真撮影などは難しいと思っていましたが、艦内の撮影や動画撮影もOKして頂いた上、海上自衛官の皆さまも気さくに一緒に写真に収まって頂きました。



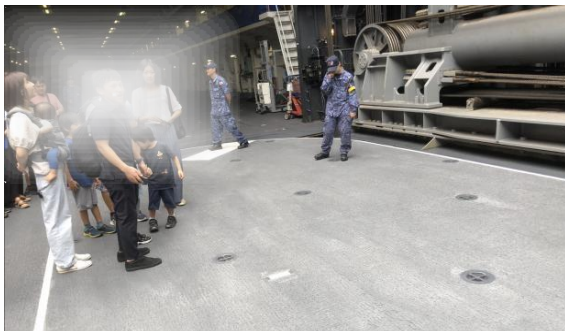
その日の見学会の様子、艦内の状況などを、参加者の『声』に乗せてご紹介させていただきます。

「さあ、未知なる『いせ』の世界へようこそ!!

海堀 瑛花

入り口はまるでロボットの中に入るみたいに関々な機械がありました。そこを通過してみると、広いらうかがありました。その右へ案内され

ると、ヘリコプターを運ぶためのエレベーターがありました。私



は、人を運ぶ
ためのエレベー
ターとかんちが
いしてました。
みんなが乗った
あと、数秒間速
い速度で上って
い

きました。その先は甲板で、いっぱい風がふいていました。

しばらくすると、艦橋に入りました。そこはいろんなせまいろ
うかがあって、部屋もいっぱいありました。そうじゅうするため
の部屋や、ヘリコプターを見下ろす部屋や、いろいろ。

「大きないせ」

海堀 瑛花

私は、今日、^{可い}せと、いう自衛隊の護衛艦
を見学し、^{とび}くりました。なせなら、²
〇〇メートルもの長さで、大きなたのです。
私はなせ、このような大きい船がしまない
ですものだから、とふしきに思ひなからずへ
入りました。

次に、もう一回甲板に行きました。写真もビデオもいっぱい
ったり、海を見ていたりして、とてもすてきな風景でした。みんな
楽しんでからエレベーターに乗り、下に下りて、まっすぐ歩いて
て・・・・・・・・。

なんと、ヘリコプターを置く所がありました。ヘリコプターの
近くに行くと、自衛隊の方が何のための乗り物が説明してくれて、い
っぱいいろんなことを教えてもらいました。

最後に、船なのに大きくて、灰色なのが“ゾウ”に見えました。
家に帰って、日本にいる祖父に話したところ、見学できるのがど
んなに特別が知り、行ってよかった、と思いました。



気になった景色①：艦上に掲揚される旗

甲板の舳先(船首)には、日本国旗。艫(船尾)には、旭日旗(自衛艦旗)が掲揚されていました。



また、司令塔部には、フィリピンへ寄港時に、その国への敬意を込め、フィリピン国旗が掲揚されていました。

その上方には桜マークが2つあしらわれた旗が掲揚されており、その意味は「海将補(海上自衛隊における階級の一つで、他国の軍隊における少将レベルのこと)」が搭乗している船

であることを示しているそうです。因みに、桜マーク3つが「将」、2つが「将補」、1つが1等海佐を表しているそうです。

～参加者の声 ②～ 海上自衛隊ごえいかん「いせ」

川崎 季実

わたしは、自衛隊の船を見学しました。その中で心にのこったことは、二つあります。

一つ目は、自衛隊の船が、船だと思えないぐらいとても大きかったことです。わたしの予想より三倍ぐらい大きかったです。なのでとてもおどろきました。大きなエレベーターで上にのぼると、広い甲板につきました。甲板では、ヘリコプターが発着できるそうです。

二つ目は、かん長さんのいすにすわったことです。そこからは、空がとくまで見えました。

さらに船長さんのぼうしをかぶりました。

船の見学は、とても楽しく、
たくさんを知れました。
次は、船で働く人たちは、海
の上ではどのようにくらしてい
るのか知りたいです。



川崎 佑くん (季実さんの弟)絵日記

～参加者の声 ③～ 「いせ」見学のお礼

小澤 叶(かなう)

ごえいかんの「いせ」に乗せてくれてありがとうございました。僕は大きな船に乗ったことがなかったので、とてもうれしかったです。

船は197メートルと本当に長く、大きかったです。船の上には、大きなエレベーターがあって、お母さんが驚きました。とても面白かったです。



せいぎょしつには、すごいモニターがたくさんあってすごかったです。かんきょう（艦橋／ブリッジ）のせきにもすわって双眼鏡を使いました。



ヘリコプターにも四回乗り、楽しかったです。海におぼれた人を助けているのもビックリしました。

自衛隊の人がとても親切でした。また乗りたいです。ありがとうございました。



気になった景色②：神聖且つ派手なデザイン

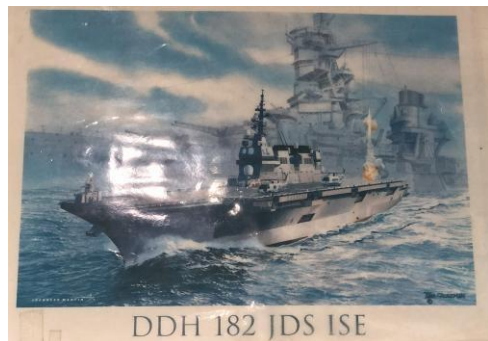
海上自衛官がかぶるキャップや、制服の肩に付けられたエンブレムのデザインは、かなり派手なイメージで、護衛艦「いせ」の乗船自衛官のキャップには、漢字で「伊勢」の文字に「三日月」、「椿の花」と「鶴の飛影」が描かれ、派手さの中にも神聖さを感じました。

(右は「八咫鳥」がデザインされた第4管区護衛艦隊のキャップ)



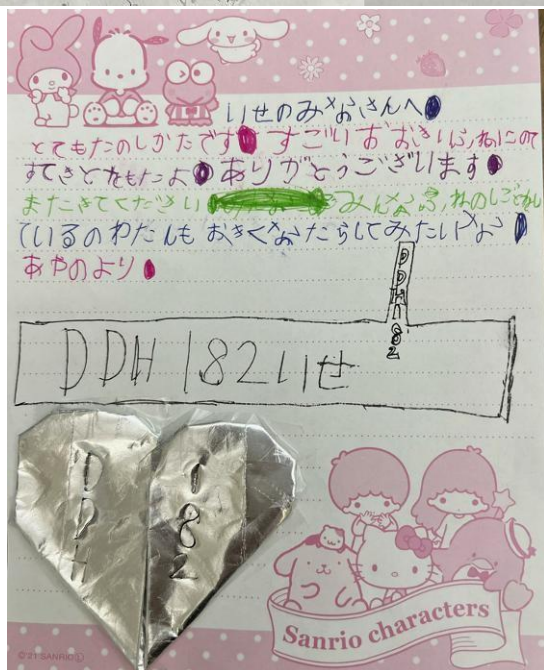
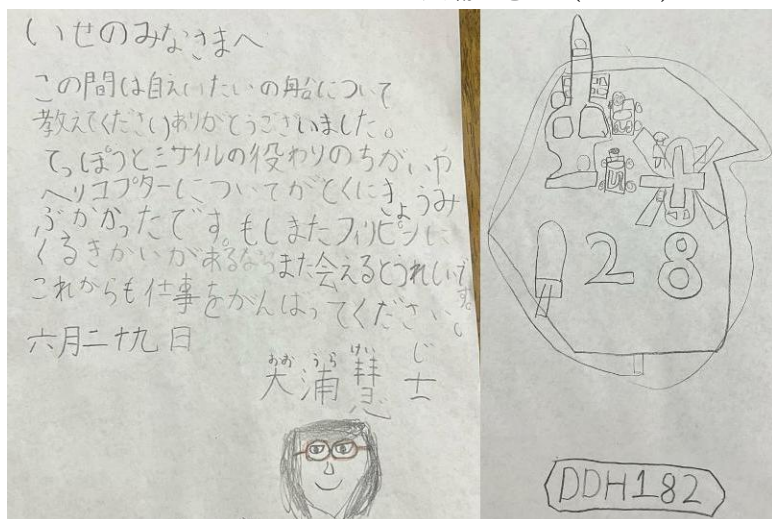
～先輩艦「伊勢」～

また、艦橋（軍艦中央部の高い構造物。展望が効き、将校が常駐して指揮をとる。ブリッジ）内に飾られた「いせ」のイメージ図の背後には、日本帝国海軍の軍艦「伊勢」の影が描かれ、神の宿る地「伊勢」そして、同じ名を冠する先輩艦への敬意が感じられました。



～参加者の声 ④～ 「いせ」の皆さんへ

大浦 慧士 (けいじ)・あやの

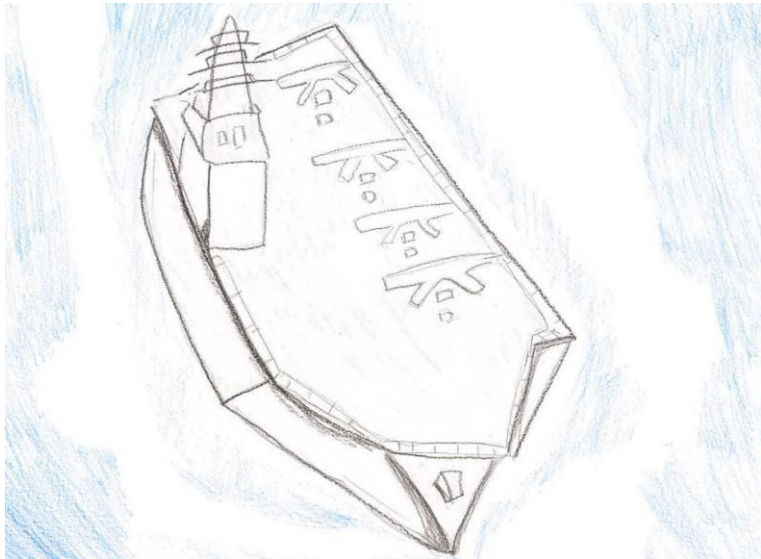


～参加者の声 ⑤～ 『ごえいかん「いせ」』

加藤 花弥(かや)

私は先日、ごえいかん「いせ」の船内を見学させていただきました。私が思ったことや、工夫されていたことを2つ紹介します。

1つ目はそうじゅう室です。そこには時計や注意事こうなどそうじゅうに必要な物などがありました。それに、時計は1個だけでなく2、3個くらいありました。これはそうじゅう室の中で色々なところから見るようにしたと考えました。中には「ねむくなったら無理せず交代せよ」などと書かれているものもあり、そうじゅうするのは重要な役目だと改めて思いました。つぎにそうじゅう席にすわりました。席はとても高く、ひとふんばりしなければ私にはすわるのがむずかしかったです。高い分見晴らしがよく、遠くまでよく見えました。



2つ目はかん板です。船の上の平らなデッキで、そこでは同時に4機のヘリコプターが飛び立つことができるそうです。これを

聞いておどろきました。そしてデッキを歩いていると、でこぼこしているように感じました。隊員さんによるとすべらないように加工してあるそうです。このように隊員さんがていねいに分かりやすく説明してくれたので色々なことを知ることができました。



今回、ごえいかん「いせ」を見学して、安全を守るために色々なところで工夫がされていると感じました。国の安全のためにせきにんのある仕事をしているのがすごいと思います。これからも隊員のみなさんががんばってください。

～参加者の声 ⑥～ 『ごえいかん「いせ」を見た』

加藤 岳(がく)

ごえいかん「いせ」を見せてもらいました。さいしょ中に入って、たいいんさんが「エレベーターにのりますよ」と言いましたが、どこにエレベーターがあるかわかりませんでした。たいいんさんの近くにあつまると、ふつうのエレベーターとちがってかべもてんじょうもなく、ゆかが上にうごいていきびっくりしました。上に行ったらそこは大きなかんぱんでした。かんぱんにはヘリコプターがりりくしたり、ちゃくりくしたりできるかっそうろがあり、とてもひろかったです。



中に入ると、きゅうでせまいかいだんがあり、のぼるとそうじゅうするへやにつきました。まん中の一つせきがあって、左右りょうがわにせきが二つありました。まん中のせきにすわってみたら、たのしくてうれしい気持ちになりました。左右のせきからはかんぱんがよく見えました。とても高かったです。また、かいだんをのぼり下りして、とても長くてせまいろうかをとおると、さっきとにているへやにつきました。またせきにすわってみると、ちがうけしきが見えました。

ヘリコプターがしまわれているところも見せてもらいました。プロペラがおりたたまれているところをはじめて見ました。ヘリコプターの中に入らせてもらおうと、せんすいかんをみつけるレーダーと、人をたすけるためのジップラインみたいなひもをかけるところもありました。ヘリコプターのそうじゅうせきにもすわらせてもらい、うれしかったです。

せつめいしてくれた人たちがハキハキしていて、かっこいいおしごとだと思いました。

フィリピンあるある!!

見学に行った際、停泊地のフェンスに記念のT シャツ販売のポスターが貼られていました。海上自衛隊で作成されたのかと思いきや、実は停泊地付近の建物内にあるフィリピンのお土産物を販売する売店が、この「いせ」の入港に合わせて作成し、販売していると聞きました。フィリピン人のこの商魂たくましさにも感服させられ、一着 900 ペソにて購入させて頂きました。

特に許可は得ていないようで、お咎めなども特にないそうで、粋な計らいと感じました。



～参加者の声⑤～ 見学後のアンケートより

- 実際に艦内を拝見し（急な階段、狭い通路など）、あの狭い艦内で長期間過ごされる大変さを感じました。
- 大変な環境下でも艦内が非常に清潔に保たれており、隊員の皆さんの練度の高さが伝わってきました。
- 子供は普段座れない操縦席に座れて、とても興奮していました。
- 子供達も「かっこよかったね」と寝の間際まで話していました。
- 子供は頂いたピンバッチをつけて学校に毎日通っています。
- 子供はもちろん、大人も普段できない海外ならではの貴重な体験ができ、思わず興奮して声が出てしまう特別公開でした。以降、海上自衛隊の YouTube をずっと見ています（笑）。
- 今回は3カ月日本に帰らない、6カ月位になることもあったと聞きました。無事に帰国し、家族とゆっくり過ごせますように。
- 安全上の配慮を頂きつつ、丁寧且つユーモアに富んだご説明を頂き、最後には記念の伊勢お守りまで頂戴し、感謝致します。

